

ひぬまみずどり しっち

涸沼水鳥・湿地センター整備概要

ラムサール条約湿地「涸沼」のワイズユースを推進するための拠点として、「涸沼水鳥・湿地センター」を整備しました。涸沼の価値や魅力を広く周知するとともに、多くの人々の交流により、これらを未来へと継承していきます。当施設は、展示施設と観察棟（鈴の音テラス）の2施設で構成されます。

- <施設の役割>
- 情報提供拠点：涸沼の魅力を知ってもらう
 - 活動拠点：涸沼を守り継承する
 - 利用拠点：涸沼の魅力に触れる

■施設概要

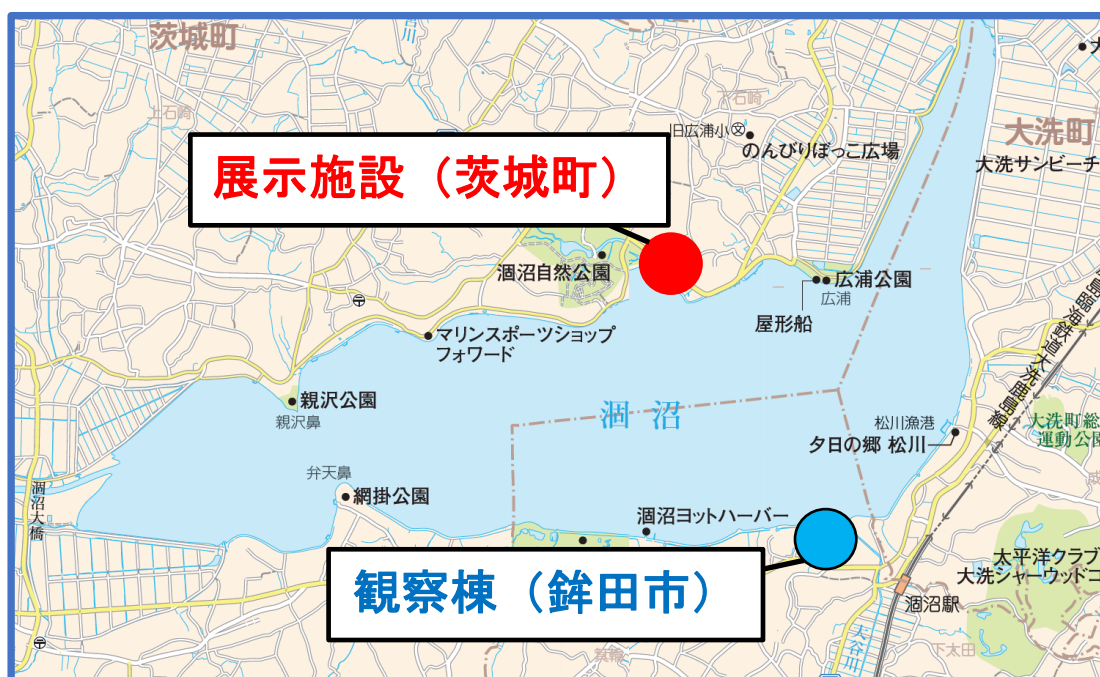
名称：**涸沼水鳥・湿地センター（展示施設）**
 場所：茨城県東茨城郡茨城町大字下石崎字小浦2585番4他
 構造：木造平屋建
 建築面積：404㎡
 外構工事及び運営：茨城町

名称：**涸沼水鳥・湿地センター 鈴の音テラス（観察棟）**
 場所：茨城県鉾田市箕輪字鎌尻1754番地
 構造：木造 地上3階（屋上付2階建（エレベーター設置））
 建築面積：154㎡
 外構工事及び運営：鉾田市

■事業費

令和元年～3年度：基本計画、設計業務 5,000万円
 令和4年～6年度：工事、監督支援業務 5億4,400万円

計 5億9,400万円



涸沼水鳥・湿地センター（展示施設）

涸沼の歴史や汽水湖の環境、水鳥、魚類、植物など豊かな生態系について紹介する展示コーナーと保全活動や学習の拠点として利用できるレクチャールームを有する施設です。

展示コーナーでは、スズガモの模型や涸沼で発見されたヒヌマイトトンボの拡大模型、水生生物の生態展示などがあり、生物の様子をじっくりと観察することができます。また、伝統のシジミ漁の体験もできます。

南側にはデッキフロアを設けており、潮風を受けながら、シンボルツリーと涸沼の湖面が広がる景観を見て、のんびりとした時間を過ごすことができます。



周囲の自然・景観と調和した大きなひさしと土壁風の外観



涸沼の自然と伝統的な漁業などの解説



湖面を眺められる見晴らしデッキ



迫力あるヒヌマイトトンボの20倍拡大模型

開館時間：午前9時から午後5時まで ※11月から翌2月までの毎土日は午前7時開館

休館日：毎週月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）・年末年始

アクセス：北関東自動車道 茨城町東インターまたは水戸南インターから車で16分

お問い合わせ：茨城町生活経済部みどり環境課 電話029-240-7135

涸沼水鳥・湿地センター 鈴の音テラス（観察棟）

目の前にヨシ原が広がり、冬季にはスズガモ、マガモなどカモ類が多く越冬する様子を観察することができます。

2階には望遠鏡を設置しており、手ぶらで野鳥観察が楽しめます。情報コーナーでは、今、どのような野鳥が見られるのか、確認することができます。

屋上展望デッキからは涸沼の眺望が望めます。西には筑波山が位置し、夕暮れには筑波山と夕焼けが織りなす美しい景観を見ることができます。シーズンには伝統的なシジミ漁を行う様子も見ることができます。

ユニバーサルデザインで整備され、どなたでも野鳥観察や展望が楽しめます。



湖面に面した広い窓から
水鳥を望遠鏡で観察



涸沼で観察できる野鳥の
情報コーナー



屋上展望デッキから
涸沼が一望



車椅子での利用もできる
ユニバーサルデザイン

開館時間：午前9時から午後4時30分まで

休館日：毎週月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）・年末年始

アクセス：（電車）鹿島臨海鉄道大洗鹿島線涸沼駅より徒歩11分

（車）北関東自動車道水戸大洗インターから車で20分

お問い合わせ：銚田市環境経済部生活環境課 電話0291-36-7486